

特定非営利活動法人

2000年 5月1日 Vol.15
せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

NPO雑感

— 昨年の「NPO法」の制定以来、県内各地のNPOでも法人格を取得しようとする動きが活発化しています。これまでに法人格を取得したNPOを見ると、以前から地域において活動を行っていたところが多く、この機会に組織の飛躍や活性化を図ろうとする手段として、法人化を選択する例が多く見受けられます。その中でも、最初に法人格の取得を前提に組織を立ちあげ、活動を始めるNPOのいくつか見受けられるようになりました。

現在、石巻地域において地域のNPOをサポートしようという動きがあります。この団体は、昨年宮城県より地域におけるNPOへの支援のあり方を検討するように委託を受け、地域内のNPOの団体・個人あるいは自治体職員の人たちを交えて勉強会や意見交換をしながら提言書としてまとめ、3月には県へ報告をしました。その後、関係した幾人かの中から、行政の支援を待つばかりでなく、民間サイドからの具体的な活動へと繋げていく取り組みが必要との意見が出され、それを受けて民間中心で地域内のNPOとも連携を取りながら、支援のための組織を立ち上げ法人化を行ない、活動を展開しようという機運になっています。

石巻の事例のように、これからは活動の延長線上に組織化（法人化）があるという活動先行型ではなく、目的や課題を明確にして組織を立ち上げて、活動を行なっていくという理念先行型のNPO団体が、これからは多くなっていくのではないのでしょうか。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 木村 正樹

内容

サポート資源開発プロジェクトと
タイズ財団・パイク会長招聘
SSC運営報告、ホームページオープン
講座のお知らせと報告・部会報告
東北リレートーク
本・事務局活動報告
催事、みんな歳時記



注目！ 4月からの新規プロジェクト

サポート資源開発プロジェクトと タイズ財団・パイク会長招聘

代表理事・常務理事
加藤 哲夫

当センターでは、平成12年度の事業計画の大きな柱として、「サポート資源開発プロジェクト」を企画しています。これまでも「サポートメニューの充実」をテーマに、「NPO法人化講座と相談」「マネジメント講座」「会計・税務講座」「FAXみんな同報サービス」など、さまざまな支援メニューを開発してきました。

しかし、当センター自身の資源（資金や人材や技術力）には限りがあります。また、行政セクターからの委託事業だけに頼るわけにもいきません。

そこで今年度は、NPOに対するサポート資源を有する企業や労組、協同組合などに呼びかけて研究会を組織します。

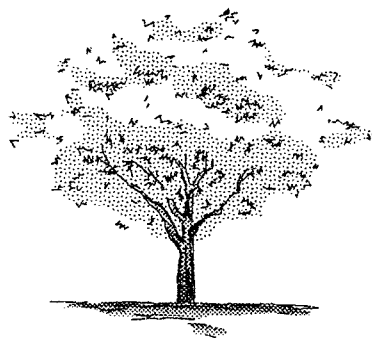
1年間かけて相互学習を行い、当センターと協働で支援・サポートのプログラムを開発し、継続的に資金や物品や人材をNPOに提供する仕組みをつくりたいと考えています。

つまり個々の企業や労組などとひとつひとつ提携やプログラムを考えるのではなく、20社程度が一緒に新しい社会貢献やNPOとの連携を研究し、その中から新しいプログラムを開発するというプロジェクトを行なうのです。

同時に、全国のサポートセンターや資金開発の研究者などと

協力してメーリングリストを運用し、刻々と開発されている各地の資金づくりや資源提供の動きを収集し、情報の共有と整理を行い、これを研究会に反映させると共に、研究会の成果をメーリングリストで全国化します。そのことにより仙台での試みが全国に伝わります。

全国のNPOの動きがますます加速している現在、研究と開発と情報の提供が同時並行して行なわれることで、より成果の上がるプ



ロジェクトになると思っています。また夢の段階ですが、1年後にはいくつもの企業や労組がNPOとの提携プログラムを開発し、資金や物資や人材をNPOに提供するようにしたいと思います。（幸いなことに、このプロジェクトは、日本財団のプログラム助成をいただけることになりました。）

この研究会は通常は、企業や労組など資源提供者のみの研究会として運営されますが、時機に依じて一般公開のシンポジウムや講演会などを企画します。その第一弾

として、6月15日に、アメリカからタイズ財団のパイク会長を招聘し、講演会を開催いたします。サンフランシスコにあるタイズ財団は、社会変革財団とも呼ばれ、先駆的な市民活動に積極的に助成をすることで有名です。

また、単に助成をするだけでなく、インキュベーターとして、新しく設立されるNPOを内部に抱えて育てる仕組みもあります。さらに、NPOが入居しているビルも管理運営しているのです。これらの金・場所・ノウハウを総合的に提供するNPO支援機関としてのタイズ財団の活動は、私たち日本のNPOにとって、そしてNPOの社会的基盤を整備しようとしている行政セクター、企業セクターの皆さんにも大いに参考になることでしょう。ぜひご参加ください。

【プロジェクトに向けて】

代表理事 大滝 精一

これまで、仙台市や宮城県においては、NPOと企業の連携が必ずしも活発に行われてこなかったように思われます。本社自体は、社会貢献活動やNPOとの連携に熱心であっても、支社や営業所のレベルでは、同様の取り組みができないということもあります。地元の企業も比較的最近までNPOの存在すら知らな

ったという状況もあります。

しかし、ここに来て、こうした状況は大きく変化しつつあります。NPOと企業が具体的な場面で連携し協調することによって、互いがプラスになる可能性が高まっています。両者の連携がNPOをより充実したものにしていくことを確信しています。

■理事 川村 志厚

優れた企業の構造は、経営理念・ビジネスモデル・リスクマネジメントの強固なバランスから成り立っています。

企業がNPOと連携することは、

この企業構造との対応からみると、企業市民としての地域貢献、顧客情報のフィードバック・ループ構築、リスクコントロールの有力な手段という意味があります。

企業とNPOとの連携は、欧米のエクセレントカンパニーの事例などにも見られるように、今後ますます必須かつ有益になることは間違いありません。

この機会に企業の方々の積極的な参加を期待しています。

■理事 八木 充幸

企業とNPOの連携については、もともとCCFサロンが担当でス

タートした。運営する過程で、当初見込んだ企業のネットワークづくりというよりはよりNPO側に近づいたものとなっていった。これはこれでいい成果を産みつつあるが、企業へのアプローチという課題は残されている。今回のプロジェクトではこのテーマに取り組むと共に、企業からNPOへの資源提供についてより踏み込んだ実務的な動きに結びつけていきたい。

■タイズ財団バイク会長講演会

日時：6月15日（木）

午後18：30～21：00

場所：エルパーク仙台

セミナーホール

募集
NPO
法人化講座

●内容
NPO概論

情報提供いたします。

人の多様な活用方法について

法の精神を活かす、NPO法

法で成立したものです。その

民が国会に働きかけて議員立

法で成立したものです。その

もともと、この法律は、市

学びます。

細と、定款のつくり方などを

ら、具体的な申請手続きの詳

という基本に立ち返りなが

て、「今なぜNPO法人か」

民による公共性を担う組織と

してのNPO法人に光をあ

なるうとする人たちが増えて

いくでしょう。

今回の講座では、新しい市

民による公共性を担う組織と

してのNPO法人に光をあ

て、「今なぜNPO法人か」

という基本に立ち返りなが

ら、具体的な申請手続きの詳

細と、定款のつくり方などを

学びます。

もともと、この法律は、市

民が国会に働きかけて議員立

法で成立したものです。その

法の精神を活かす、NPO法

人の多様な活用方法について

情報提供いたします。

特定非営利活動促進法が施行されて1年。全国で1500を超える団体が「認証」を受け「法人」になりました。届け出でも許可制でもない「認証」という手続きは、申請する市民側も、審査する所轄庁の側も、不慣れなことで混乱がみられます。ようやく「税制優遇」についての見直しの意見書も宮城県議会で採決され、全国キャンペーンも動き出しました。今後ますます、特定非営利活動法人（NPO法人）になるうとする人たちが増えていくでしょう。

今回の講座では、新しい市民による公共性を担う組織としてのNPO法人に光をあて、「今なぜNPO法人か」という基本に立ち返りながら、具体的な申請手続きの詳細と、定款のつくり方などを学びます。

もともと、この法律は、市民が国会に働きかけて議員立法で成立したものです。その法の精神を活かす、NPO法人の多様な活用方法について情報提供いたします。

講師は、NPOマネジ
メント講座から引続き、早坂

いらつしやいました。

自治体の方や個人参加の方も

いただきました。また、自

形、岩手、秋田からも参加

県内の方ですが、福島、山

取得団体)、その多くは宮城

2/3が任意団体、1/3が法人格

の内、NPOが60団体(内

85名の方が参加。受講者

に行った講座には、併せて

4月8日(土)・15日(土)

報告

「会計・税務講座」

サポーターセンター

●定員20名 ●参加費3,000円

●主催 当センター

・会場 市民活動

・時間 6時30分～9時30分

(各回同一の内容、同時です)

●日時・場所

第1回 5月23日(火)

第2回 6月21日(水)

II. NPO法は何故制定されたか?

III. NPO法の概要、申請手続き

IV. NPO法人をつくるには? 登記手続き、設立後の諸手続き

V. 設

第1回 5月23日(火)

第2回 6月21日(水)

・時間 6時30分～9時30分

(各回同一の内容、同時です)

・会場 市民活動

●定員20名 ●参加費3,000円

●主催 当センター

サポーターセンター

●日時・場所

第1回 5月23日(火)

第2回 6月21日(水)

毅さん(NPOコンサルタン
ト、税理士)。

講座は、会計の基本的な考
え方を踏まえ、まず①「誰の
ための会計か?」②「何のた
めの会計か?」を確認。①は
支援者(会員)とその他の利
害関係者(助成財団等)のた
めの会計であり、②は内部管
理用と外部報告用といえま
す。

では、どの会計の方式を選
び(①家計簿・小遣帳方式
②企業会計方式 ③公益法人
会計方式)、複式簿記か単式
簿記で処理をしたら良いか。
例えば、年間予算100万以下で
ある団体の場合、①家計簿・
小遣帳方式でも充分。複式簿
記のできる団体は、②企業会
計方式で記録し、期末に調整
して収支計算書を作成すること
をお勧めします、と早坂さん談。
どうやら「公益法人会計」に
基づく会計処理にしばらくは
事はないようです。

これからもこの講座は定期
的に行なっていく予定です。
ご期待ください。

・講師の早坂さんのおすす
めの税務の本を6頁で紹介し
ています。(青木ユカリ)

では、どの会計の方式を選
び(①家計簿・小遣帳方式
②企業会計方式 ③公益法人
会計方式)、複式簿記か単式
簿記で処理をしたら良いか。
例えば、年間予算100万以下で
ある団体の場合、①家計簿・
小遣帳方式でも充分。複式簿
記のできる団体は、②企業会
計方式で記録し、期末に調整
して収支計算書を作成すること
をお勧めします、と早坂さん談。
どうやら「公益法人会計」に
基づく会計処理にしばらくは
事はないようです。

これからもこの講座は定期
的に行なっていく予定です。
ご期待ください。

・講師の早坂さんのおすす
めの税務の本を6頁で紹介し
ています。(青木ユカリ)

◆ 新年度に突入! ◆

仙台市市民活動サポートセンター運営報告

春4月。新しいスタートの季節。出会いの予感に胸ときめかせ、なんて気分になんて浸ってられない我がサポートセンター事務局。巷では「お花見」の準備を意味する「開花宣言」も、私たちには報告書の提出期限を宣告する非情な「通達」に過ぎず、桜前線の北上に本気で焦りながら新年度の準備を進めました。

その結果、2年目の当センターのテーマとして「市民主体で活用できる施設の創造」を掲げ、様々な市民活動支援の「メニュー」を、利用者との協働作業で開発していく方向を確認しました。

昨年度、私たちはまず施設のハード面充実を第一に掲げてサービスの向上に努めました。各種備品の整備はもちろん、情報提供システムの充実や、来館者の方向感覚を奪う(!)館内の案内表示設置にも力を注ぎました。新年度は、それらを基盤としてソフト面のサービス拡充に取り組みます。現在、新たなプロジェクトとして動き出したものとしては、当センター1周年記念事業と、今年度から始まる人材育成事業をあげることができます。具体的な要旨は現在策定作業を進めているところですが、両者共に利用者からの「意見」だけではなく「知恵」も活

用した利用者参画型のイベントとして捉え、「民」の良さを「公」の場で存分に発揮できる画期的な企画を目指しています。2年目のサポートセンターに是非、ご期待下さい!

(工藤寛之)



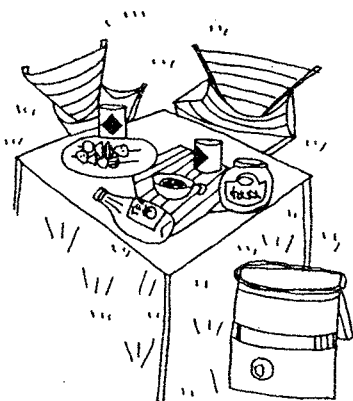
※仙台市市民活動センターは、仙台市が設置した市民活動・NPO活動を促進するためのサポート施設。管理・運営は仙台市が当センターに委託をしている、日本初の「官設民営」のサポートセンターです。現在、常勤スタッフ9人、非常勤スタッフ3人で運営し、加藤、紅、黒澤の各理事が中心となってマネジメントを行っています。

昨年9月、2日間にわたり開催された「NPOフォーラム'99東北会議」からもう7ヶ月。

あの講座に参加したかった、NPOの問題解決のヒントを見つけたいという方など、多くの皆様からお問い合わせをいただいたおりました「NPOフォーラム'99東北会議報告書」が、ついに完成することになりました。当初は、年度

内完成を目指して報告書編集部が編集に励んでおりましたが、100名近くの報告者の確認をいただき、各担当者にまとめと校正をお願いするのは至難の技。ようやく2ヶ月遅れでこの5月中に発行できそうです。当センターで販売致しますので、皆様のお申し込みお待ちしております。

◆A4版・116ページ。
販売予定価格：1700円
(会員は500円引き)。



つまじいのNPOが見える
「NPOフォーラム'99東北会議報告書」
◆ 1700円 ◆

部会報告

4月からは、毎回市民活動団体やNPOが知りたい・困っているテーマにそって参加者が事例を発表しあい情報の交流を行っています。その1回目、4月のサロンでは「資金集め」をテーマに各団体の悩みや情報を交換しました。

セナードサロン部会

遠藤 智栄

「行政からの助成金は減る一方と考えた方がいい」「お金がどのように使われているかイメージしやすく報告しては」「仕事の委託を受けていく力をつけていく必要がある」「困っていることをアピールするのも大切」「お金もそうだがボランティアスタッフをどのようにして集め、活躍してもらうかも大切な課題だ」などの意見が出されました。また、基本として「その団体のミッションを解りやすく説明し、必要なお金がなぜ必要なのか明確に説明できるようにすること」が確認されました。

■今後の予定

- 6月 新規会員集め
- 7月 パソコン・インターネットの活用法
- 8月 マスコミを使おう
- 9月 行政とのつきあい方
- 10月 企業とのつきあい方

■次回 5月17日(水) ●時間 19:00より

●会場 市民活動サポートセンター研修室2

CCFサロンでは、3つのアクションプログラムが進行しています。

【地元企業のNPO意識調査隊(参加者:会社員、学生、NPO)】4月20日に宮城県に調査隊の報告書を提出しました。現在は、協力企業や関係者に送付する報告書の概要版を作成している最中です。今回の調査をいかに今後につなげていくかが今後の課題です。【預託システム研究会(参加者:NPO)】ヨタ研のアンケートも回収が終了しました。現在まとめている最中です。今までハートフルバンクに関する民間のアンケートはなかったのではないかとということで、注目される調査でもあります。ご期待ください。

企業フィランスロピー部会

遠藤 智栄

【NPOのための経理・会員管理ソフト研究会(企業:フレンドリーシステムズ)】NPOに生の声を聞くべくアンケートやヒアリングを実施したいと考えています。その際はご協力よろしくお願い致します。皆様からの情報の提供もお待ちしています。結果を急がず丁寧に調査することも大切ではないかという意見も出されました。

なお、【企業とNPOによる国際インターンシップ】は終了しました。

■次回 5月24日(水)

●会場 東北エニコム ●時間18:30より

アレマ隊・2000年春のキャンペーンいよいよスタート!!

3年目を迎えた仙台市の「ポイ捨てごみからまちづくりを考えるキャンペーン」。昨年の9月の全市一斉キャンペーンには、およそ3,000人の市民の参加がありました。今年、5月27日(土)~6月4日(日)の9日間を春のアレマ・キャンペーン「全市一斉ポイ捨てごみ調査・清掃活動」期間として、昨年同様3つのコースを選んでいただき、いよいよこの春のアレマ隊、始動開始です。期間中には、5月27日に「水の森公園クリーン作戦」、6月4日は、「杜の都のクリーンウォーキング」「第6回スマイルウォーククリーン」といった活動も展開されます。あなたもアレマ隊員として、拾う、数える、考えるごみ拾いに参加してみてください。なお、アレマ隊の活動はこの期間以外でも活動できるものです。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

◆問い合わせ: 仙台市環境局廃棄物管理課 TEL 022-214-8250



東北リレートーク 青森県 青森市 青森アップル会

青森アップル会は、環境NGOとして1993年8月に発足しました。会員は会社員・主婦・大学の教員・学生・OLと様々な環境問題に関心のある老若男女が参加しています。会の活動は最初は地球環境の深刻な環境汚染の実態の把握から始まりました。

そのとっかかりとして一番深刻な問題として、オゾン層の破壊から取り組むことにしました。最初にフロンガスの全国都道府県の取り組み実態をアンケートで把握し、議会に対し、フロンガス回収法案の提出を促しました。また、1995年より名古屋大学太陽地球環境研究所と青森大学の屋上に有害紫外線観測の機器を取り付け、太陽紫外線の強度測定を行っています。

また、1997年4月よりは国立環境研究所を交え、全国の学校関係者、NGO等16地域と

ネットワークを組み、有害紫外線の人体への影響調査を実施しました。(3年間)そして2000年の本年は国立環境研究所地球環境センターが実施代表者になって大学・試験研究機関・民間団体でネットワークができた「有害紫外線の被曝量を観測するネットワーク」にも参加して東北地域の観測拠点となっています。

このような専門性を持った観測活動とダイオキシンや環境ホルモン等の地域汚染物質の実態学習や調査活動を行ったり、リサイクル関係の展示やイベント活動を行ない、行政・事業者・一般市民への環境教育の普及と会員自身学習に勤めています。会費は年会費1,000円です。年数回のニュースレターで会の催しの紹介などの連絡やセミナーの案内が行きます。

(永井雄人)

青森アップル会

http://web1.Tinet-I.jp/user/applengi/
〒030-0947青森市浜館字科86-1
電話&FAX 017(743)8314
仙台事務所 022-304-5880 電話&FAX兼用

NPPO法人税制を網羅的に解説し、NPPO関係者にとって正に待望の1冊である。また、一般的消費税の説明に加え、新設法人でも納税義務がある場合の解説もある。NPPO法人が発行する3万円以上の領収証には、収入印紙を貼る必要がないなど、NPPO法人の会計担当者の悩みが解決されてゆく。著者のNPPOへの深い理解を感ずると共に、NPPOの会計担当者にとっても必携の書であろう。本書は海外のNPPOを巡る税制も解説し、今後の税制論議の中で案内書としても有用である。本書後半の約1/3は会計制度に触れているが、その中の重要点を挙げてみた。

■「NPPO法」は、未完成の過渡的法律であると考えられる。(中略)会計システムも暫定的なものとして作成され、実状に合わせて改正してゆくことが必要である。(p.163)

■NPPOの会計は利害関係者にとって理解容易なものではない。制度成立の背景には触れず、会計の作業や手順ばかりを事細かに記述している。解説本が多い中で、「NPPO法人の税務」は、NPPO法成立の過程を踏まえ、その制度の成立過程に触れている点は、注目に値する。

NPPOコンサルタント・税理士・特定非営利活動法人 まちづくり情報センター かながわ監事
早坂毅(たけし)

BOOK

「NPPO法人の税務」

花伝社 刊 赤塚和俊 著
2,000円＋税

センター・事務局関連

- ・市民活動サポートセンター休館日・サポートセンタースタッフ全体会議 (2/23・3/29)
- ・センターサロン「NPOができる健康・医療のサポート」(2/24 紅邑・遠藤)「NPOができるNPOへのサポート」(3/22 加藤・遠藤)「お金・資金集め」(4/18 紅邑・遠藤・安国)
- ・NPOマネジメント実践講座 仙台会場 (2/25-27) :石巻会場 (3/10-11) /主催:宮城県
- ・サポートセンタースタッフ全体ミーティング(3/1・8・15・22・4/5・12・19)
- ・みんな発送作業 (3/3)
- ・CCFサロン/東北エココム (3/14)
- ・事務局会議 (3/21・4/4・5 加藤・紅邑・遠藤・青木)
- ・ゆるる編集作業 (3/23・25・4/21)
- ・特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター第8回理事会 (3/24) 第9回理事会 (4/21)
- ・理事ブレ 川村氏 (3/29)
- ・NPOの会計・税務の集中講座 (4/8 戦災復興記念館・4/15仙台市市民会館)
- ・サポート資源開発プロジェクト (4/6 大滝・加藤・紅邑・八木)
- ・調査隊打ち合わせ (4/11 遠藤・岡本・高藤・高野・藤井・紅邑・松尾・八木)
- ・法制度部会打ち合わせ (4/17 黒澤・紅邑)
- ・ローカルサポートプロジェクト (4/21 加藤・紅邑・山田・横須賀)

NPO関連他

- ・まちづくり研究会 (3/1・4/6 紅邑)
- ・IHOE合宿 (3/4-5 加藤・紅邑)
- ・日本NPOセンター特別研修 (3/4-5 松尾)
- ・「水沢市ボランティアのつどい」講演/水沢市社旗福祉協議会ボランティアセンター (3/5 黒澤)
- ・NPOフェスタ2000in石巻 (3/8 紅邑)
- ・矢本町民フォーラム (3/8 紅邑)
- ・高齢者福祉NPO経営支援事業委員会/社会福祉法人東北福祉会 (3/17 紅邑)
- ・日本NPOセンター理事会 (3/24 加藤)
- ・年度終了後の報告・申告の特別研修会/NPO事業サポートセンター (3/17 遊佐)
- ・「来たぞ地方分権!どうする県南地方フォーラム」/カルチャーネットワーク、白川青年会議所 (3/26 加藤)
- ・デジタルコミュニティズ/東京 (3/27・4/20 加藤)
- ・仙台商工会議所 (3/27 紅邑)

自治体関連

- ・仙台市生涯学習講座 (2/29 紅邑)
- ・民間非営利促進検討委員会/県 生活・文化課 (2/29・3/24・4/11 紅邑)
- ・桃生町 農村集落ワークショップ (3/2-3・3/13 加藤)
- ・仙台市社会教育委員会 (3/14 紅邑)
- ・四日市職員研修 (3/17 加藤)
- ・宮城県企画コンベンション報告会「宮城県地元企業のNPO意識調査隊」/県 生活・文化課 (3/18 紅邑・遠藤)
- ・本庄市都市計画課視察 (6名) (3/25 加藤)
- ・市民活動フォーラム報告会 (3/28 加藤・紅邑)
- ・中核機能拠点検討委員会/県 生活・文化課 (4/11 加藤)
- ・仙台市社会教育委員会 (4/11 紅邑)
- ・開府400年記念講演 (4/17 加藤・紅邑)

取材・ヒアリング・相談

- ・NPO研修・情報センター 世古さん来訪 (2/23 加藤・紅邑)
- ・あしながサポートネットワーク 湯田さん来訪 (2/25)
- ・市 環境生活課 立野さん、高橋さん来訪 (3/1 加藤・遠藤)
- ・塩釜市体育協会 成澤さん、小野寺さん来訪 (3/1)
- ・センタープレス 大泉さん来訪 (3/2)
- ・東北開発研究センター 松橋さん来訪 (3/3 紅邑)
- ・青森アップル会 永井さん相談 (3/3)
- ・ふくしまNPOネットワーク準備会 斎藤さん相談 (3/6 紅邑)
- ・岡村製作所 相談 (3/6 紅邑)
- ・仙台商工会議所 佐藤さん来訪 (3/6 加藤)
- ・富士教育 丸山さん来訪 (3/6 加藤)
- ・古川市総務部 石堂さん来訪 (3/14)
- ・県 生涯学習課 丹野さん、阿部さん来訪 (3/15 加藤)
- ・アジア農民との手をつなぐ会 斎藤さん、面川さん相談 (3/21 加藤・紅邑)
- ・日経アーキテクチャー 取材 (3/21 紅邑)
- ・市 環境計画課 佐藤さん来訪 (3/22 加藤)
- ・JCB 関野さん (3/22 加藤)
- ・仙台リビング新聞 三浦さん来訪 (2/22)
- ・福島大学 舟山さん来訪 (3/25 加藤)
- ・県 固体障害者スポーツ大会事務局 小島さん来訪 (3/27 紅邑)
- ・藤原のりすけさん来訪 (3/28 紅邑)
- ・多賀城市 伊藤さん相談 (3/28 加藤)
- ・システムワン 佐々木さん他2名 (3/28 加藤)
- ・ソキウスせんだい 高塚さん 他4名 (3/28 加藤)
- ・県 産業経済部 二階堂さん来訪 (3/29 青木)
- ・野澤さん 法人化相談 (3/29 青木)
- ・仙台市交通労組 斎藤さん相談 (3/30 加藤)
- ・東北経済連合会 石井さん、秋田さん来訪 (3/30 加藤)
- ・一番町市民センター 堀越さん (3/30 遠藤)
- ・東北学院大学 赤木さん (3/30 加藤・紅邑)
- ・宮城県共同募金会 (3/30 紅邑)
- ・県 生活・文化課 佐々木さん、留目さん来訪 (3/31 加藤・紅邑)
- ・河北新報社 阿曾さん来訪 (3/31 紅邑)
- ・市 環境計画課 佐藤さん来訪 (4/3 加藤)
- ・デジタルコミュニティズ 廣川さん、松波さん (4/5 加藤・紅邑)
- ・大崎地方事務組合 佐藤さん来訪 (4/8)
- ・市 廃棄物管理課 青木さん、岩淵さん、さん打ち合わせ (4/10 加藤)
- ・富士社会教育センター 丸山さん来訪 (4/10 加藤)
- ・真山さん 来訪 (4/10 紅邑)
- ・愛知絢子さん (4/10 加藤)
- ・仙台生ゴミリサイクルネットワーク 徳田さん来訪 (4/11・18 加藤)
- ・市 リサイクル推進課 唐牛さん、向井さん打ち合わせ (4/11 加藤)
- ・市町村職員研修所 長野さん来訪 (4/11)
- ・市 地域振興課 菊地さん、木須さん、鈴木さん来訪 (4/11 加藤)
- ・NTTコミュニケーションウェア 林さん (4/12 紅邑)
- ・仙台青年会議所 八矢さん、大原さん (4/12 紅邑)
- ・宮城県社会福祉協議会 鳴海さん (4/13 紅邑)
- ・ワーキンググループ 大槻さん来訪 (4/13 紅邑)
- ・色麻町 片倉さん来訪 (4/15 紅邑)
- ・高橋さん、法人化相談 (4/19 青木)
- ・みやぎボクシングクラブ 今野さん来訪 (4/19 青木)

お待たせしました！ホームページオープン！

5月1日、せんだい・みやぎNPOセンターのホームページがとうとうオープンしました。今回は公開第1弾として、当センターのミッションや、具体的な事業内容について、広く情報発信するための「自己紹介ページ」を開設しました。今後、第2弾、第3弾と、作業を進め、会員の皆様に、スピーディーな情報発信をしていくことができる場にしていきます。お楽しみに。

また、情報入力など、お手伝いいただける方を大募集中です！！

(高田篤)

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/>

サポート・ご協力 ありがとうございます(敬称略)

●平成11年度会員

(新規)木幡勝幸、広岡立美、今野清子、早坂毅、塩釜市体育協会、ふくしま地域づくりの会、永野洋子、NPO法人ひまわり、桜井勤、遠藤幸枝、野沢タキ子、大場達哉、(株)セブン情報企画、鈴木格
(継続・正会員)パートナーシップサポートセンター
(継続・準会員)茨城NPOセンター・コムズ、下山田健二、大室鮎美
(振込順、2/23~4/28)

●事務局ボランティアスタッフ (随時来訪 2/23~4/21)

緒方布美子、遠藤幸枝、大場達哉、佐々木伸二、鈴木格、高野州永、津野田壮広、登坂宗太、内藤志保、長澤美代子、西大條晶子、峯岸弘至、村上鮎美、涌井道夫(五十音順)

●東北エニコム(CCFサロンの会議室提供)、岡元ビル(事務局スペース)

4月からは、「富士ゼロックス」よりカラーコピー機を社会貢献価格にて提供していただいています。

催しのご案内

●NPO/NGOのための税・法人制度改革

緊急シンポジウム

日時：5月14日(日) 13時30分~
場所：山口ビル イベントホール(青葉区南町通)
国会議員の方々を招きます。参加費：1,000円

●NPO法人化講座

日時：5月23日(火)、6月21日(水)
18時30分~21時30分まで 参加費：3,000円

●CCFサロン

テーマ：アクションプラン報告
日時：5月24日(水) 18時30分~
場所：東北エニコム 参加費：500円

●セナードサロン

テーマ：イベント・広報
日時：5月17日(水) 19時~ 参加費：500円
場所：市民活動サポートセンター 研修室2

●東北巡回フォーラム

- ・5月16日(火) 山形市 共催団体：山形創造NPOネットワーク
- ・5月27日(土) 会津若松市 共催団体：会津NPOセンター
- ・6月11日(日) 秋田市 共催団体：あきたNPOセンター
- ・6月12日(月) 青森市 共催団体：あおもりNPOサポートセンター

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209
E-mail minmin@jca.ax.apc.org
http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/

コンペ・助成金情報

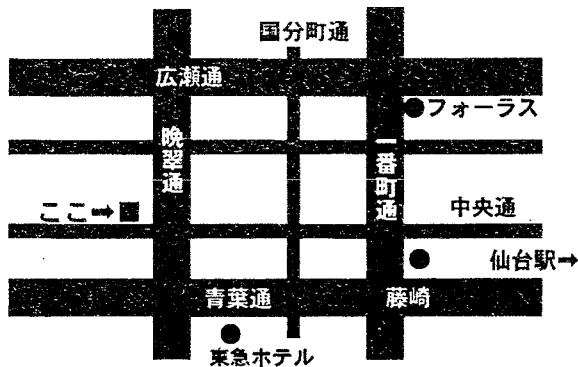
■まちづくり活動企画コンペ

1団体50万円が上限。応募メ切5月19日(金)
問い合わせ 仙台市地域振興課 TEL 022-214-6129

■みやぎ地球市民すくすく計画

1. マイ・プランすくすくプログラム
上限10万円、個人でもグループでも可、国内外で学ぶ機会を提供するプラン
2. 青年団体すくすくプログラム
最低30万円以上、企画次第では助成金がアップ。青年団体の企画に必要な資金の一部を助成する
・メ切(1.2共) 5月31日(水)
問い合わせ：宮城県教育庁生涯学習課青少年育成班
TEL 022-211-3654

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分
1Fのファミリーマートが目印



みんな編集後記

□NPO関係の本も、近ごろは沢山出ています。身近なところでは、宮城県の県議会議員・藤原のりすけさんの書いた「市民のための地方行政読本」(宝文堂発行)がある。県議会の仕事や予算が決まるプロセスなど、興味深いことが書いてあって、NPOが自治体に政策提言をする勘所がつかめそうな一冊である。(紅邑) □来仙以来私が挑戦していること。それは、「宮城県全市町村走破」。休日や2勤明けの夜中を活用して県内を走り回り、残すところ鶯沢町と宮崎町のみとなりました。まさに、山あり谷あり味覚あり(!!)の一人旅。宮城はやっぱりイイ所です。横浜ナンバーの軽自動車を見かけたら声がけを。お土産用のスペースは用意してます!(工藤) □先日、東北巡回フォーラムで岩手県北上市に行ってきた。北上川沿いの桜の名所を楽しみにしていたのだが、今年は寒いということでもまだ2分咲き。ちょっと残念だったが、東北中・北部ではGW中に十分に桜を楽しめそうだ。よしよし…。岩手・北上の皆さん、お世話になりありがとうございます。(遠藤)

●みんな編集部にご感想をお待ちしています。東北の山々は山菜の季節ですね。差し入れ大歓迎で〜す。